

看護研究第8巻総目次

1975年(第1号～第4号)

焦 点

清潔の看護に関する研究・1

臨床看護研究 5

清潔の援助に関するわが国の研究……………1(1)

中西 睦子
相馬 朝江
岡崎 節子
雨宮 悦子

座談会

清潔——その文化的背景と

民族性を探る……………15(1)

安斎 伸
野口 武徳
藤井 正雄
宮田 登

解 説

“患者”の持つ清潔さへの“望み”……………30(1)

平井 富雄

座談会

看護における“清潔”の再検討……………34(1)

川島みどり
安部 倫子
赤沢 利子
津田佳世子

清潔の看護に関する研究・2

資 料

清潔のケアの重要性についての

患者と看護婦の認識……………81(2)

松本 女里
津田佳世子

Conference・素材

バックカテーテルの清潔についての一考察……………86(2)

村田 千寿ほか

Conference・素材をめぐって

看護も学際的な研究の一翼になう……………89(2)

内海 滉
登坂 有子
前原 澄子
赤沢 利子
小栗ひろみ

文献研究

わが国における新生児の身体の清潔に関する

研究と考え方の動向……………102(2)

川崎佳代子
伊藤 和子

姿勢・体位と看護に関する研究

臨床看護研究 6

体位に関する援助についてのわが国の研究……………161(3)

中西 睦子
相馬 朝江
岡崎 節子
雨宮 悦子

解 説

感情・気分と姿勢……………171(3)

青木 和夫

体位と循環と呼吸……………176(3)

井川 幸雄

座談会

体位をめぐる患者の要求と

医療上の要求の接点……………182(3)

増田 澄江

前川 清栄
溝口アツ子
高山 順子
氏家 幸子

人間関係と看護に関する研究

臨床看護研究 7

看護婦－患者関係に関するわが国の研究……237(4)

中西 睦子
雨宮 悦子

座談会

真の人間理解に必要なものは何か……247(4)

川村佐和子
見藤 隆子
池田 節子
山口 絢子
木下 安子

Conference・素材

希望を与える看護——看護

情報工学からのアプローチ……265(4)

高田 淳

Conference・素材をめぐって

言葉の数量化と看護におけるその意義……284(4)

内海 滉
芳賀 純
藤原加恵子
高田 淳
前原 澄子

研 究

看護学生の職業意識の形成に関する研究……46(1)

小島 禮子

口腔内細菌による食物汚染の研究

I. 粉乳及び調合乳の細菌汚

染と保存による細菌増殖……139(2)

木内 妙子
広末 明子

患者と看護婦の心理的構造の差異と

患者－看護婦関係——患者－看護婦

関係理解への一つの試み……145(2)

島内 節

看護学生の病院実習と咽頭細菌叢の変化……319(4)

岡本 陽子
久芳美代子
沢江 義郎

海外論文

The Relationship Between Parents Health
Status and Body Image of their Children

両親の健康状態とその子供との関連性……200(3)

Marya Olgas

訳・内海 滉

Effect of Preoperative Visit

by Operating Room Nurses

手術室看護婦による術前訪問の効果……208(3)

Carol A. Lindeman

Steven L. Stetzer

訳・内海 滉

Increasing the Quality of Nursing by

Introducing the Concept of Primary

Nursing: A Model Project

プライマリー－ナースィングの概念の導入に

よる看護の質的向上について：モデル研究……310(4)

Geraldene Felton

訳・内海 滉

抄読会

“覆刻版－実地看護法”をめぐって……62(1)

高橋 政子
桑野タイ子
岡部喜美子

“看護婦であること”をめぐって……222(3)

稲田 美和
杉森みど里
高橋 美智

“死ぬ瞬間”と“死ぬ瞬間の対話”をめぐって……297(4)

小島 禮子
沼尻香代子
佐々木文子

看護研究相談室

仮説の立て方とその役割……78(1)

津田佳世子

* * *

看護研究セミナー収録

看護研究方法論……120(2)

臨床研究の問題点……130(2)

講演・Dr. Jeanne Quint Benoliel

The Japanese Journal of Nursing Research Vol. 9, No. 1 (Winter 1976)

IGAKU SHOIN LTD.

CONTENTS

A Special Edition "On Safety"

Study; A Review of Studies of Environmental Safety for Patients in Japan1
Mutsuko Nakanishi/Etsuko Amamiya

Discussion; What is Safety in Nursing.....12
Kazutaka Kogi/Satako Hayashi/Midori Kawashima/
Takako Okuyama/Mariko Kato/Kayoko Tsuda

Book Review by Discussion

On "Concept Formalization in Nursing Process and Product"
by The Nursing Development Conference Group.....39
Kyoko Hatano/Ayako Kabeshima/Toki Onodera

Translation of Article from Abroad

The Efficacy of Group Therapy by Nurses for Hospitalized Patients31
Margaret T. Beard/Patsy Y. Scott
Translation by Ko Utsumi

Study

An Attempt of an Analysis of Verbal Approach of Public Health Nursing on the
Linguistical View Point54
Satoshi Ariumi

❖ 編集後記

▷たいへんおそくなりましたが、9巻1号をおとどけします。2巻以後いささか鈍足ではありますが、挽回するよう頑張っておりますので、なにとぞお許しください。

▷安全性というテーマは、永遠に論じられるものだと思います。なぜなら、まったく安全という世界は“人間”を不安全にするという矛盾の中にこのテーマは存在するからです。

▷実験室の中でみた“ねずみ”はまったく危険のない状態で飼育されていました。このねずみは至極のんびり屋で、小生の目には、もはやねずみであることすら放棄しているようにみえたのでした。(H)

▷喫煙を常習とされている方々にとって、ケムリはまことに快適な、心なごむもののようです。“紫煙”という優雅(?)な名称を与えて、心ゆくまでケムリを愛好しておられます。ところで、喫煙常習者にとって非喫煙者は存在しないかのごとく、

人混みであれ狭い事務室であれ、平然とケムリを吹き上げておられます。非喫煙者にとって、ケムリが、その臭いが、どんなにつらく、心にくいものであるか等、考えられないことのようなのです。

一口に“相手の立場に立つ”と申しますが、これはなかなか難しいことのように……。舌禍、ごめんなさい。(N)

▷今号から“看護研究”の編集室に仲間入りをいたしました。よろしくお願いたします。(M)

◆訂正：本誌8巻4号の総目次に誤りがありますので、深くおわびすると共に、下記のように訂正させていただきます。

88ページ“海外論文”の項11行目 訳・内海 滉→訳・瀬沢陽子

編集担当：土方・西村・楠・森谷